

# 平和の教育

昭和20年8月6日午前8時15分に広島市、8月9日午前11時2分に長崎市に原子爆弾が投下されました。広島市では約14万人、長崎市では約7万4千人が亡くなったと推定されており、この原爆の投下が昭和14年から昭和20年の約6年にわたり続いた「第二次世界大戦」における終戦の要因の一つとなりました。

町では「核兵器廃絶平和の町宣言」を平成20年6月18日に宣言しているとともに、戦争の凄惨さを肌で感じ、自分たちの現在の生活と対比させながら、平和について考えられる力を培うため、次の世代を担う児童生徒に対して「平和教育」に取り組んでいます。

「平和教育」では、戦争が存在しない状態を目指すだけでなく、人権教室や多文化共生の視点も取り入れ、人権が尊重され多様な文化が共生することができる社会となるよう、各学校などでさまざまな取り組みを実施しています。安平町のみならず、世界全体が平和かつ安全であり続けることを願いながら、皆さんも一緒に「平和」について改めて考えていきましょう。

各学校などの取り組み事例を一部ご紹介します。



生涯学習だより



第275号

発行  
安平町教育委員会  
☎29-7036  
FAX29-7030

## 追分児童館



オリジナル千羽鶴の作成

## 追分小学校



広島平和記念資料館資料を活用した  
「平和教育ギャラリー」の開催

## 早来学園



千羽鶴の作成

※写真は7年生が2年生に鶴の折り方を教える様子

## 追分中学校



広島平和記念資料館資料を  
活用した「平和学習」の授業